

居住支援ニュースレター

2024年10月発行

今年度、一宮市では住宅と福祉が連携し、高齢者、障害者、子育て世帯、低額所得者、外国人などの属性により、住まいの確保が困難となる方に対して「住まいの確保の支援」「入居中の生活支援」「退去後の支援」の居住支援体制を構築するため、居住支援協議会の設立に向けて取組めます。そのために、行政として住宅部局と福祉部局がしっかりと連携し、フォーマルな支援サービスの提供とともに、民間事業者の方との連携によりインフォーマルな支援・サービスが提供できる包括的な支援体制を目指していきます。

◎居住支援勉強会を開催しました

去る9月20日（金）に住まいと生活支援の一体的支援を考える「居住支援勉強会」を開催しました。当日は77名の参加がありました。

今回の勉強会は、居住支援についての「基礎知識の習得」と「参加者同士のつながり」を目標に企画をいたしました。皆様の積極的な参加により大変盛り上がりしました。

勉強会では、情報提供として国土交通省中部地方整備局建政部住宅整備課の天舛課長から、「今般の住宅セーフティネット法改正に係る背景や居住支援の必要性、法改正の内容」について説明がありました。また、講演として大牟田市居住支援協議会の牧嶋事務局長から、「なぜ今、居住支援が必要なのか」について具体事例を交えてお話しいただきました。その後、講演の内容を踏まえ、各グループに分かれグループワークを行いました。各グループは様々な分野・職種の方で構成されており、どの参加者も違う立場からの意見に共感と発見を感じておられました。



会場の様子



グループワークの様子

★総勢77名の様々な立場の方が参加されました。

- 不動産関係者(13名)
- 愛知県住宅供給公社(2名)
- 居住支援団体(8名)
- 高齢者関係団体(8名)
- 障害者関係団体(6名)
- 医療関係者(7名)
- 葬祭業関係者(3名)
- 行政関係者(21名)
- 講師・オブザーバー(9名)

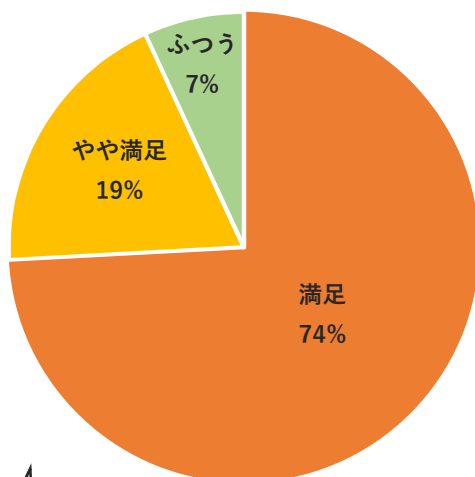
★8つのグループに分かれて意見交換を行いました。

参加者ご自身の立場において居住支援が必要な場面ってどんな時かについて活発な意見交換が行われました。

◎居住支援勉強会のアンケート結果

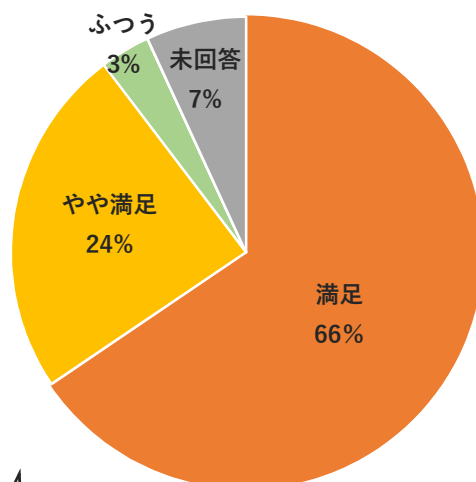
■勉強会の内容について聞きました。

①講演内容の満足度について(n=58)



9割を超える方が「満足」又は「やや満足」と答えています。

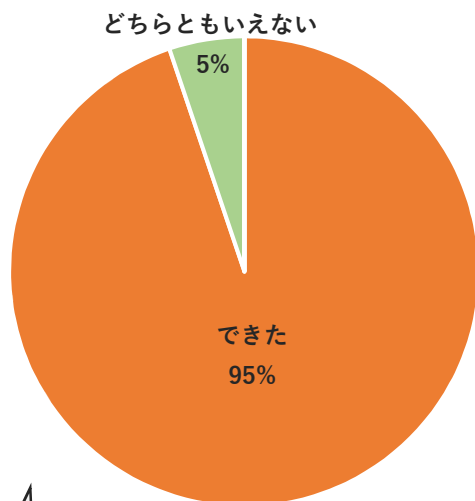
②グループワークの満足度について(n=58)



9割の方が「満足」又は「やや満足」と答えています。意見交換の時間がもう少しほしかったとの声が届いています。

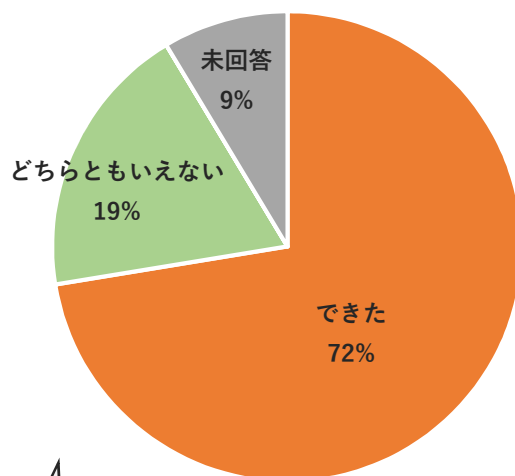
■勉強会に参加して習得できたことについて聞きました。

①居住支援についての知識の習得について(n=58)



居住支援を進めるには、住宅と福祉の連携、行政と民間事業者の連携の必要性を学びました。

②参加者同士のつながりについて(n=58)



勉強会後に参加者同士の名刺交換する姿が多くみられました。多職種連携のきっかけとなりました。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

ご回答いただいたご意見は、今後の勉強会運営に役立たせていただきます。今後も皆さんと居住支援の輪を広げていきたいと思っておりますので引き続きよろしくお願いいたします。

◎次回の居住支援勉強会のお知らせ

来たる **11月18日（月）午後** に第2回目の居住支援勉強会を開催する予定です。今回は「知ってるようで知らない民間賃貸住宅のこと、市営住宅のこと」をテーマに開催する予定です。皆様に満足していただけるようなプログラムを企画しておりますので、是非ご参加ください。